

	企業 (所在地)	売上高	経常損益	純損益	次期予想
製造業 (17社)	★トヨタ自動車九州 (福岡県宮若市) 単	1,228,945 (▲7.9)	非公表	非公表	非公表
	TOTO (北九州市)	580,935 (▲2.6)	41,353 (14.5)	27,199 (15.3)	—
	黒崎播磨 (北九州市)	113,661 (▲17.3)	6,361 (▲34.8)	4,334 (▲32.7)	増収増益
	平田機工 (熊本市)	65,255 (▲0.5)	5,176 (80.9)	4,075 (2.3倍)	—
	旭有機材 (宮崎県延岡市)	53,551 (▲5.4)	3,648 (▲17.0)	2,789 (▲11.1)	増収減益
	ヤマウHD (福岡市)	26,711 (15.7)	1,863 (58.8)	1,243 (69.7)	—
	西部電機 (福岡県古賀市)	24,648 (3.8)	2,397 (8.7)	1,632 (18.2)	減収減益
	戸上電機製作所 (佐賀市)	22,593 (0.2)	1,866 (10.1)	1,334 (15.1)	増収減益
	ダイショー (福岡市) 単	22,399 (6.1)	827 (33.8)	533 (31.9)	—
	大石産業 (北九州市)	18,595 (▲2.9)	1,404 (18.3)	946 (14.3)	増収増益
	ヤマックス (熊本市)	18,576 (14.2)	653 (48.0)	442 (95.0)	—
	イフジ産業 (福岡県粕屋町)	13,825 (▲3.4)	1,210 (27.2)	830 (35.2)	増収増益
	ヒガシマル (鹿児島県日置市)	12,215 (▲1.8)	76 (黒字転換)	274 (黒字転換)	増収増益
	昭和鉄工 (福岡県宇美町)	11,464 (▲4.8)	173 (▲55.3)	208 (9.8倍)	増収増益
	ピエトロ (福岡市)	9,869 (3.4)	575 (20.5)	320 (44.8)	—
	マルタイ (福岡市) 単	9,333 (9.0)	1,002 (66.4)	639 (55.9)	—
	オーケー食品工業 (福岡県朝倉市)	7,964 (▲14.4)	▲278 (赤字拡大)	▲118 (赤字拡大)	—
非製造業 (32社)	九州電力 (福岡市)	2,131,799 (5.9)	55,683 (39.0)	32,167 (黒字転換)	—
	山九 (北九州市)	533,870 (▲6.2)	34,997 (▲12.8)	23,540 (▲8.1)	増収減益
	ヤマエ久野 (福岡市)	483,834 (▲7.3)	1,928 (▲61.1)	1,862 (▲13.6)	増収増益
	九電工 (福岡市)	391,901 (▲8.6)	35,906 (▲7.1)	25,042 (▲4.6)	増収増益
	西日本鉄道 (福岡市)	346,121 (▲11.1)	▲9,639 (赤字転落)	▲12,074 (赤字転落)	—
	JR九州 (福岡市)	293,914 (▲32.1)	▲19,323 (赤字転落)	▲18,984 (赤字転落)	増収黒字
	ナフコ (北九州市) 単	234,578 (7.7)	18,918 (2.1倍)	11,688 (2.3倍)	—
	小野建 (北九州市)	202,825 (▲11.5)	6,717 (2.9)	4,508 (2.1)	増収減益
	西部ガスHD (福岡市)	191,993 (▲6.1)	4,558 (▲39.5)	1,794 (▲61.8)	増収増益
	OCHI HD (福岡市)	101,842 (▲2.3)	2,198 (▲2.9)	1,793 (25.7)	増収増益
	★岩田屋三越 (福岡市) 単	84,413 (▲21.2)	▲807 (赤字転落)	▲1,402 (赤字転落)	—
	三井松島HD (福岡市)	57,378 (▲13.8)	3,020 (0.8)	▲3,035 (赤字転落)	—
	ゼンリン (北九州市)	57,225 (▲4.3)	1,683 (▲54.6)	1,248 (▲52.6)	—
	Misumi (鹿児島市)	52,496 (▲8.5)	1,783 (10.0)	669 (30.9)	増収減益
	サニックス (福岡市)	49,416 (▲5.9)	2,091 (▲19.3)	1,965 (6.2)	—
	高田工業所 (北九州市)	47,794 (▲3.9)	2,204 (▲2.3)	1,054 (▲26.1)	—
	アプライド (福岡市)	39,670 (23.1)	2,397 (20.0)	1,540 (36.3)	—
	リックス (福岡市)	36,023 (▲16.7)	2,090 (▲23.1)	1,364 (▲25.3)	—
	南陽 (福岡市)	32,406 (▲5.6)	2,046 (▲6.2)	1,329 (▲4.2)	増収増益
	九州リースサービス (福岡市)	28,259 (12.2)	3,735 (5.5)	1,860 (▲21.7)	増収減益
	富士ピー・エス (福岡市) 単	27,693 (2.4)	1,730 (91.1)	1,327 (2.0倍)	増収減益
	ウチヤマHD (北九州市)	23,795 (▲21.5)	▲616 (赤字転落)	▲2,231 (赤字転落)	未定
ベガコーポレーション (福岡市) 単	19,313 (42.3)	1,851 (12.6倍)	1,159 (28.9倍)	減益	
スターフライヤー (北九州市) 単	18,295 (▲54.7)	▲11,356 (赤字転落)	▲10,067 (赤字拡大)	未定	
力の源HD (福岡市)	16,539 (▲43.2)	▲1,010 (赤字転落)	▲2,392 (赤字拡大)	増収黒字	
シダー (北九州市)	15,613 (3.2)	674 (2.6倍)	387 (84.8)	増収減益	
新日本科学 (鹿児島市)	15,110 (3.8)	3,645 (16.8)	3,661 (43.6)	増収減益	
トランスジェニック (福岡市)	11,046 (▲0.0)	891 (9.3倍)	546 (黒字転換)	増収増益	
ビジネス・ワンHD (福岡市)	9,863 (6.9)	661 (3.0)	461 (8.5)	増収増益	
ジェイリース (大分市)	7,601 (12.7)	911 (8.5倍)	552 (23.0倍)	増収増益	
オブティム (佐賀市)	7,517 (11.7)	2,000 (7.7倍)	1,237 (10.5倍)	増収	
ワイエスフード (福岡県香春町) 単	1,303 (▲12.1)	▲73 (赤字縮小)	0 (黒字転換)	増収赤字	

(注)掲載企業は九州に本社を置く上場企業と、非上場企業のうち決算を公表した主な企業。★は非上場。「単」は単体決算。「HD」はホールディングスの略。表の単位は百万円。かっこ内は前期比増減率%。▲は減少または赤字。次期予想は売上高と経常損益を比較。「—」は会計基準の変更などで前期と比較できず

食品 量販店

運輸 外食
百貨店

コロナ下の地場主要企業決算

自粛、巣ごもりで明暗

九州の主要企業の2021年3月期決算は、新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない中、運輸や外食、百貨店などが打撃を受け、巣ごもりなどの需要を取り込んだ食品や量販店が好調となるなど、業種によって差が出る「K字型」の様相となった。頼みのワクチン接種も遅れが目立つ中、地場企業は収束後の業況を見通せずにいる。

(布谷真基 仲山美葵)

K字型

感染リスクを高めるとされる人の移動や、多くの客を集めることで成り立つ事業を手掛ける企業は本格的な修正を迫られている。「グループ全体が厳しい

1年だった。今後はコロナの状況次第で、最悪の事態も想定しなければ」。JR九州の青柳俊彦社長は記者会見で力なく語った。株式

は189億超。22年3月期には増収と黒字転換を予想するが、「依然として不確実性が高い」と今後の業績回復シナリオが大きく揺らぐ可能性もある。

西日本鉄道(福岡市)も過去最大の最終赤字。テレワークやリモート授業など普及でバス・電車の利用

【1面参照】

深
ボリ!

者が急減した。得意としてきたレジャー・サービス部門の落ち込みも深刻で、福岡市で運営する遊園地やボウリング場の営業終了を決めるなど、大規模なリストラを余儀なくされている。

百貨店や外食業界もコロナ不況に苦しむ。三越伊勢丹ホールディングス(HD)傘下の岩田屋三越(同)は、時間短縮営業に加え、不要不急の消費というイメージもあり客足が鈍った。ライ

メン店「一風堂」を展開する力の源HD(同)は財務基盤を立て直すため、麻生(福岡県飯塚市)などを引

受先とする新株発行で最大約35億円を調達する。

ったことが数字上、プラスに出た」と振り返る。

一方、感染拡大防止のため在宅時間が伸びたことで、食品メーカーや生活必需品を扱う量販店などには追い風になった。

ホームセンターのナフコ(北九州市)は、在宅時間が増えたことでDIYや園芸関連用品の売上高が前期比12・8%増。感染予防商品などの生活用品も好調で、経常利益、最終利益とも前期の2倍を超えた。

即席麺メーカーのマルタイ(福岡市)は、巣ごもり需要による「買い占め」の対象になった。昨年春にはスーパの棚が品薄になることもあったため、定番の「棒ラーメン」などを増産しながら、2種類の新商品を投入した。見藤史朗社長は「生活様式が大きく変わ

パソコンやデジタル関連機器を販売するアプライド(福岡市)も、テレワークやオンライン授業の普及でITへの投資機運が高まったことで、ハード、ソフト両面での営業に力を入れ、過去最高益を更新した。